



社団法人 日本観光協会

による「美しい森林づくり」に向けた取組



地域の森林特性を生かした 新たな観光振興の推進

近年は、観光の捉え方や関心が変わり始め、今後の観光は「地域の産業をどうやって観光に生かしていくか」ということが大きな鍵となってきています。

その様な中で、山村地域にある森林環境を生かして、新たな旅行形態としてのニューツーリズム(エコツーリズム、グリーンツーリズム、ヘルスツーリズム、文化観光など)への注目が高まっており、観光振興を通じた地域活性化が期待されています。

森林浴などを組み込んだヘルスツーリズム

山村地域にある豊かな森林を生かしたニューツーリズムとして、近年は森林セラピー等のヘルスツーリス

ムへの期待が高まっています。メタボリックシンドローム予防に役立つウォーキング等の運動や健康・食事指導、森林の中で呼吸法に関する指導を受けたりするツアーがあり、医学的分野と連携した健康の回復や維持・増進につながる内容になっていることが特徴です。

自然とふれ合う観光で森林のよさを紹介したい

美しい森林は、美しい国土、そして美しい海を作り、豊かな観光やニューツーリズムを提供する基盤にもなります。そのため、観光という面からも、観光やニューツーリズムの商品提供を通して、森林のよさや大切さを紹介したり、森づくりに参加するなどで、美しい森林づくりに貢献できる取組を進めていきたいと考えています。

【取組】全国展開

森林を生かしたニューツーリズムの推進

新たなマーケットに対応した効果的な観光地域づくりを推進する観点から、ニューツーリズムの発展に向けた取組を推進しています。平成19年には北海道で森林を生かしたヘルスツーリズムのツアーを実施。健康面のフォロー、食事はもちろん早朝ウォーキングなどを行い、好評を得ました。



▶ 小川沿いをウォーキング



▶ 検査も実施

【取組】地域での展開など

森林セラピー等のモデルプランの紹介

全国各地の観光協会等のキャンペーンでは、森林セラピー等のニューツーリズムのモデルツアーが実施されるケースが増えています。

長野県の「信州道楽」キャンペーンでは、複数の「森林セラピー基地」「森林セラピーロード」を巡る健康ツアーのモデルプランが紹介されています。



▶ フィトンチットが豊富な木曽ヒノキの天然林での散策(長野県上松町)

社団法人 日本観光協会

(社)日本観光協会は、我が国の観光振興に関する中枢機関(ナショナルセンター)として、我が国観光の振興を総合的に図るための各種の事業を行うことにより、地域経済及び観光産業の発展並びに国民の生活及び文化の向上に寄与するとともに、国際親善に資することを目的としている。

【問い合わせ】(社)日本観光協会事業推進グループ国内振興チーム TEL:03-6222-2534 FAX:03-6222-2539
E-mail:kokunai@nihon-kankou.or.jp http://www.nihon-kankou.or.jp/home/